

件名	令和 6年度 福井市障がい者自立支援協議会 第 2回地域移行・地域定着部会 報告書		
日時	令和 6年 9月 3日(火) 14:00~15:00	会場	福井メディックス 2 階
出席者	委員:10 名		
欠席者	高志福祉会:山崎康展氏、つぐみ福祉会:門睦子氏、みどりの森訪看:白藤真理氏		
報告内容 協議事項	<p>1. 各専門部会の事務処理について 資料 1</p> <p style="text-align: center;">令和 6年度福井市障がい者自立支援協議会全体会の報告について</p> <p>2. 協議内容</p> <p style="padding-left: 2em;">(1) 各 WG の進捗報告等 資料 2-1~2 3-5</p>		
	<p>〔市・中野氏〕</p> <p>・第 3 回の部会を 12 月 3 日だったが、12 月 10 日 火曜日に変更となる。</p> <p>〔部会長〕</p> <p>国全体として共生社会を目指した日本を作っていく。誰もが当たり前に住みやすい地域に住む社会を目指していると思う。その中で障害福祉 や障害者自立支援などの地域移行地域定着部会は大事な役割を担っていると思う。今日も皆さんと意見を交わしながら何かを作り上げていきたい。</p> <p>1. 各専門部会の事務処理について 資料 1 参照</p> <p>〔市・中野氏〕</p> <p>地域移行・地域定着部会の他に各部会があるが、事務処理や流れの統一するため、運営会議で協議されたことを共有する。1ヶ月前に開催通知を事務局から送付し、出席確認をする。部会 1 週間前に会議資料をメールにて送付。会議後については、議事録を 1 週間 から 2 週間後の間に共有し、福井市のホームページに掲載する。</p> <p>メール送付については、BCC 送付をオープンな状態で送付に変更。</p> <p>ホームページに会議資料を掲載。昨年度は個人情報の観点から名簿を掲載していなかったが、全て掲載する。傍聴者がいる場合は傍聴者の紹介をしていたが、誰でも入れるようにホームページに URL を掲載。次回からは紹介はしない。</p> <p>〔平鍋氏〕</p> <p>Q：これで全ての部会がオープンな状態になるのか？</p> <p>A：全ての部会の URL が掲載される予定。</p> <p>〔森下委員〕</p> <p>Q：誰でも傍聴できるという仕組みについて、会場の設定にも配慮が必要かと思う。1 階にある会場やエレベーターがある会場など、アクセス面の配慮も検討する必要があると思う。</p> <p>A：次回の部会場所については再度検討し、場合によっては場所変更のお知らせもする。</p> <p>傍聴は希望オンライン参加が原則。</p> <p>オンライン参加の場合、物理的に来られない方もいるので、その場合は事前に申し込みをしていただく形にしたい。</p> <p>〔部会長〕</p> <p>・目が見えない人とか、耳が聞こえない人への字幕や、その他の対応も検討する必要がある</p>		

るかと思う。

〔市・中野氏〕

- ・他の部会担当者にも共有する。

令和6年度福井市障がい者自立支援協議会全体会の報告について

〔部会長〕

- ・今年の報酬改定には、施設に対して地域移行の希望があるかどうかの調査が行われる。この話を役所と一緒に進めることになっている。

〔市・中野氏〕

- ・令和6年度の報酬改定の中で、入所者の地域移行の確認が必要となっている。確認に向けて担当者を施設の中で選定し、移行確認のためのマニュアルを作成することが求められている。令和6年、7年は努力義務だが、令和8年度からは義務化される。原則として未対応の場合は減算対象となる可能性がある。行政の方からは、令和8年度の義務化に向けた確認が行われる可能性がある。

2.各WGの進捗報告等：

(1)アンケート作成・実施・回収分析 資料2-1～2 3-5参照

〔部会長〕

- ・令和3年度に実施したアンケートは、福井市内にある11ヶ所、精神科病院を含めて、施設の方に実施した。地域移行に関する希望についての調査で、希望しているのは166名、希望していないのは631名だった。再度調査を行いたい。令和7年度に向けて、アンケート部会で移行調査の継続をお願いしたい。令和8年度と合わせて、何か地域移行のお手伝いできればと思う。施設側でも地域移行への希望を出したいが、本人や家族の都合で難しいことがあるので、その課題を一緒に考えていきたい。

〔奥村氏〕

- ・研修開催グループの研修先開催の検討で、前年度から精神科の病院に研修を開催しているが、今年度は松原病院での開催を検討中。来年度の開催場所について皆さんの意見を聞きたい。地域での研修の開催先が、予定としては上がってきていないので、討議する必要がある。研修の候補先があれば、提案して、広報活動などを進めていきたい。

〔部会長〕

- ・研修の開催先の提案について意見があれば。去年は県立病院で実施、今年度は松原病院だが、その他の提案があれば。現状は開催先を探すより、部会に依頼があって研修をするイメージが強い。

〔吉田隆氏〕

- ・質問にはなるが、施設というのが具体的にどんな場所を指しているのかイメージがつかなかった。病院は決定していたが、障害者支援施設が対象となっていることが多い。地域移行が進まない場合、病院とは違う対応が必要かと思う。地域の施設がどのような状況なのか、情報があれば教えて欲しい。依頼先を選びにくいのが現状。精神障害の人は、病院から退院することが多いが、施設は地域での受け入れ体制が整っていないことが多いので、施設への研修も必要かもしれない。精神科の病院からの退院者をどう受け

入れるかを考えるために、施設側も研修を受け入れていくべきだと思う。

〔森下氏〕

- ・身体障害、知的とか全体的に見ている。精神障害が多いが、地域移行地域定着部会を運営していく時に、誰をターゲットにしているのか。

例えば、精神障害の人を主体に思う方と、3障害関係ないと思う方がいた時に、取り組んでいく方向にずれが出てくる可能性がある。

精神障がいがある人は病院からの退院という認識になると、焦点が合わない。地域移行地域定着部会のメインは精神で行くのか、三障害で行くのかをはっきり決めていく必要がある。

施設での研修イメージに関して言うと、病院から入所を頼まれる側。精神科は施設に入所すれば、診療報酬上は地域移行にならず退院になる。精神科の人を受け入れていない施設にも依頼があるが、受け入れたことがないので困ると言われたらしい。施設に精神障害に関する研修に行くのはどうか。身体障害を主に受け入れている施設が、今後受け入れていけるようなアプローチをしていくのも1つかなと思う。

〔部会長〕

- ・この地域行定着部会が立ち上がった時の協議会の会長は吉川先生だった。その時に、病院の吉川先生は精神障害の方を対象としており、精神障害のある方が病院から出ていくことがメインな話になった。そこに参加していた自分を含めた委員から意見が出たのは、精神疾患の人だけではないという意見が出た。その時に改めてこの地域移行地域定着部会は、3障害をやっけいこうと決まったと思う。その流れで、この全体のアンケートも3障害となっている。

だが、精神だけにという意見もありかとは思。病院側からすると退院が必要であって、ワンクッションとして施設に入ってしまう。地域移行なのに施設に入るという矛盾するところがある。全国的な流れを見ると、精神病院の方から施設という流れをやめて、グループホームへの流れもある。グループホームもやめて、地域へという流れも起こっている。病院の退院を決める人がどう考えるかもあるとは思。病院から必ず施設というのは、イコールではないと思う。地域移行は病院にやっけいくのも意味があるのかなと思う。施設に関しては施設にずっと入所しているのではなく、施設から地域に行く。体調等で難しい時、一時的に預かるといったような流れに乗っけいけるといいのでは。

〔吉田誠氏〕

- ・（研修先について）地区社協の中での開催も一つありかなと思う。

〔部会長〕

- ・地区社協も選択肢として挙げてほしいと言ってもらった。なかなか依頼先はないということが分かった。アンケートは「どこに行っけ、どの人がどの施設でデータが出っけきた」というのは、はっけりわからない。前回のアンケート項目も今調査中。

〔森下氏〕

- ・曖昧にやることを決めていくと、どうしてもやりにくい。例えば精神科の病院をメインで研修をまずやっけいく。決まったのなら、そこだけしっけりやっけいく。どこからや

っていこう？みたいな感じになるので、決めていただけると助かる。

〔部会長〕

- ・この部会が立ち上がった時に、3障害にはなったが、去年行ったのは県立病院、そして今は松原病院なので、精神科の病院の方を回っていく形で進めるのはいかがか。病院を引き続きやる形で進めていく。

(2)地域の理解促進グループ 資料2-2参照

〔吉田誠氏〕

- ・9月19日、清水民児協向けの研修資料を現在作成中。基本資料は去年をベースにして、内容については民児協の担当者と打ち合わせ中。地域で上がっている話や事例に合わせて話してくれないかというので、それに沿った資料を作成する予定。課題はグループ内での打ち合わせ。話す順序や内容がまだできていないところが課題。

〔平鍋氏〕

- ・9月18日に民生委員の方に分かりやすい説明をして欲しいということで、依頼を受けた。会長と私とで行く予定。

〔部会長〕

- ・六条厚生会のピアサポート研修で、当事者向けの資料がある。少し改良して分かりやすい。平鍋氏の話だと障害のある方の対応の仕方で、これが正しいというものなかなか難しいが、障害福祉についての話をメインでやっていこうと思う。

〔平鍋氏〕

- ・編集内容の情報をもらってもよろしいか？

〔吉田誠氏〕

- ・民生委員の中で、地域でどのように関わっているのか、家族がいる場合だと、家族はその民生委員に対してどんな気持ちを持つてるのか、どのような支援があるといいか等を知りたいのでそれ注視していく。

〔平鍋氏〕

- ・奥村委員が民生委員の研修をされていた時の情報、どこか取りまとめとかはされてるのか？

〔部会長〕

- ・白藤委員に確認をお願いしたい。地域の理解促進グループは、2件の依頼があったということで動いている。

〔森下氏〕

- ・アンケートをしたいと思うので、去年と同じ内容でやろうかなと思う。事務局の方に資料は送る。

(3)ピアサポートグループ 資料3参照

〔安田純氏〕

- ・ピアサポート研修で周知をしようという話があった。チラシを作成して、この間の研修時に部会長から周知した。事前にも報告したが、ピアサポーターとして協力してくださる方、事前の打ち合わせや実施時に同行が必要かどうかについて、経験豊富な方々から

は「必要ない」との返事。課題は、依頼がまだないが、ピアサポーターの周知をしたので、今後依頼が来た場合には、グループ全体で協力が必要。実施となった場合、アンケートグループの方でアンケートの作成をお願いしたい。次回までの予定は、依頼があった時点での対応となる。

〔部会長〕

- ・依頼がない状況だが、県立病院での講習が終わった時に、看護師か作業療法士かはわからないが、家族会から依頼があった。誰と交渉するのかがわからないままになっている。

〔森下氏〕

- ・例えば、ピアサポーターの方で精神的なサポートができる方がいれば、県立病院に連絡を取り、家族会の場で話をするができるかどうかを検討するのも良いかもしれない。

〔部会長〕

- ・ピアサポーターをどのように選定するかが重要になってくる。病院側が求める話の内容と異なる可能性があるため、こちら側でピアサポーターを選ぶ作業も必要かもしれない。依頼があるかどうかを確認する必要があるので、県立病院の方に問い合わせしてほしい。

〔安田淳氏〕

- ・特に家族が求めているサポート内容が異なることが予想される。ピアサポーターの方々には、事前にしっかりと説明をしてから参加してもらうことが重要。話す内容が家族のニーズと合致しない場合、誤解を生む可能性があるため対策を考えないと。

〔部会長〕

- ・県立病院に行った際に、どのようなニーズがあるか確認してもらえば、グループ内でより話し合うことができると思う。静岡県で行われているピアサポート活動では、入院している患者のカンファレンスに、ピアサポートが参加しており、そこでピアサポーターとして意見を述べることで、家族や本人の考えが変わることがあると報告されている。このような効果が期待できるため、ピアサポート活動の依頼があることを期待したい。

次 回

令和6年12月10日(火)14:00～